

公益財団法人 循環器病研究振興財団
平成 29 年度事業計画書

【1】助成事業

(101,208 千円)

1. 公募研究助成

(11,000 千円)

	助 成 名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額
1	バイエル循環器病研究助成	血栓症予防・治療における新しいアプローチ ※デバイス（TAVI/TAVR および LVAD 後の血栓症予防等を含む）、薬物療法、その他新たな治療法を含む。	@5,000 千円×1 課題=5,000 千円 @2,500 千円×2 課題=5,000 千円
2	循環器疾患看護研究助成	循環器疾患看護	@200 千円×5 課題=1,000 千円

2. 指定研究助成

(86,208 千円)

(個別研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 1,000 千円 H32 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 16,000 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 5,000 千円 H31 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 4,850 千円 H30 終了予定
5	弓部大動脈疾患に対する人工血管置換術とステントグラフト内挿術の比較	湊谷謙司	京都大学大学院医学研究科 心臓血管外科 教授	(新規) 1,800 千円 H33 終了予定
6	糖尿病・脂質異常症・肥満症など代謝性疾患における心血管腎イベントの発症進展因子の解明と予防法・診断法・治療法の開発	細田公則	国立循環器病研究センター 生活習慣病部門長・ 動脈硬化糖尿病内科部長	(新規) 460 千円 H33 終了予定

(多施設共同研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 11,040 千円 H30 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) 一筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 5,832 千円 H29 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 27,396 千円 H29 終了予定

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
10	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 2,350千円 H31 終了予定
11	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 H33 終了予定
12	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 H34 終了予定
13	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科・血管外科 部長	(継続) 2,760千円 H30 終了予定

3. 研究者・研修者助成

(4,000千円)

	助成名	助成内容	助成金額
1	国内外研修派遣助成	国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成	2,000千円
2	国際協同研究等派遣助成	海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成	2,000千円

【2】普及支援事業

(17,110千円)

1. 研究業績発表

(1,320千円)

(1) 研究業績集の発行

(150千円)

前年度に実施した研究助成（指定研究助成・循環器疾患看護研究助成）の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。

(2) 研究発表会の開催

(1,170千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した研究助成の研究成果を発表する。

- ① 「バイエル循環器病研究助成」研究発表会
- ② 「循環器疾患看護研究助成」研究発表会

2. 学術活動支援

(5,000千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

3. 移植医療支援

(2,000千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

4. 予防啓発活動

(8,790 千円)

(1) 小冊子

(8,200 千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

(「知っておきたい循環器病あれこれ」発行予定表)

	タイトル(仮題)	執筆者		発行予定日
122	認知症と循環器病の深い関係	猪原匡史	国立循環器病研究センター 脳神経内科・部長	平成29年5月1日
123	あなたの大切な人を助ける救命法と病院搬送	田原良雄	国立循環器病研究センター 心臓血管内科・医長	平成29年7月1日
124	意外と多い家族性高脂血症の治療の進歩	斯波真理子	国立循環器病研究センター 病態代謝部	平成29年9月1日
125	組織移植と臓器移植-国循の移植医療	福嶋教偉	国立循環器病研究センター 移植医療部・部長	平成29年11月1日
126	健康食品・サプリメントの功罪	老田 章	国立循環器病研究センター 薬剤部・部長	平成30年1月1日
127	慢性腎臓病(CKD)と循環器病の深い関係 (高血圧・透析・糖尿病)	吉原史樹	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓部・部長	平成30年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行

(150 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページサービス事業 (<http://www.jcvrf.jp/>)

(300 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など

(4) 市民講座

(140 千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発

(6) 共催名義使用

①第20回脳卒中市民シンポジウムおよび平成29年度脳卒中週間ポスター事業

[主催] 公益社団法人日本脳卒中協会

②国循市民公開講座

[主催] 国立循環器病研究センター

【3】調査研究事業

(960,196千円)

当財団の自主事業として行う研究。なお、研究者への助成を目的とするものではない。

(完成基準)

(807,346千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	安田 聡	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 293,463千円 H30 終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	草野研吾	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・部長	(継続) 430,094千円 H31 終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR)	安田 聡	国立循環器病研究センター副院長	(継続) 83,789千円 H31 終了予定

(進行基準)

(152,850千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究(ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 4,105千円 H30 終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討(CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 121,904千円 H30 終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA におけるリバーロキサバンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員／国立循環器病研究センター・病院長	(継続) 16,470千円 H29 終了予定
7	定量SPECT機能画像計算パッケージの医療機器化と一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 10,370千円 H29 終了予定